

《2025年度 学校関係者総合評価》

・以前からその必要性を言われてきていた幼小連携や、地域との交流について、今年度の保育の様子から、強いられてではなくとても自然にすすめられてきたように思う。

・自主的、自発的に研修を受けておられる先生たちの意欲の高さが素晴らしい。新しい園舎という環境の良さの中でより良くなろうとする意識の高さを感じる。

・子どもたちがとても伸び伸びとして生活している。押さえつけられることがなく子どもたちが生き生きとしていること、自由な雰囲気の中で喜びながら生活している。そのことを保護者も喜び、良い関係性も築けていると思う。

・子どもたちが「これをやりたい」というように意欲の高い子へと成長していくことが、大人になったときにもその力が発揮される。障害をもつ子ども共に受け入れ合いながら生活する環境において、大切なものを見るべき目を養い、教師の質をこれからも高めて欲しい。

・136名の園児数は多く、その数は中身が良いということ。子どもたちが嬉しそうにしているし、満足していることが伺える。

・普段から、保育事故などのニュースにアンテナをはり、危機感をもって生活することは大切なこと。情報をしっかりと受け止めて日々の危機管理を行うことは大切と感じた。